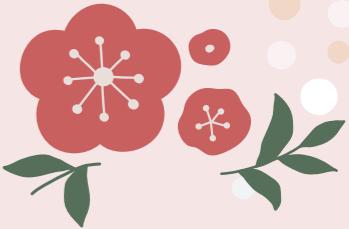


教祖140年祭  
三年千日の歩み

# 「お道の本」(A・B・C)を読んで 『ひながたを歩もう』



## A/ ひながたの道 教祖伝・出来事

まずは、教祖がお示しくだされた  
【ひながたの道】を知りましょう。

入門



教祖の逸話を四コマの絵と文でビジュアルに紹介。



中学生向けに書かれているので、理解しやすい。



教学研究者の見解と豊富な資料で、教祖伝を詳細に解説。ひながたの内容を更に知りたい人はこの一冊。



教祖伝の編さんの経緯を知れば、ひながたへの理解が深まる。

## B/ 親心 悟り・教え

次に、【ひながたの道】に込められた親神様・教祖の【親心】を感じましょう。

われわれの日常生活や、おたすけの土台となります。

〈初心者〉



天理教の用語を分かりやすく紹介。初めての人にはまずは、これ!!

140余りの教語について、未信の人を対象に解説。

〈入門〉



基本教理を網羅。100の項目で簡潔にまとめた。信仰して日々の浅い方にも理解しやすい内容。

逸話に登場する先人の子孫が読み解く「逸話のこころ」。教祖と先人たちのやりとりが目に浮かぶ。



未信仰の方を対象に説かれたお話なので、一つひとつの内容が分かりやすい。



三代真柱様が「ひながた」を余すところなく語られた30年間のお言葉集。テーマ別にまとめた貴重な一冊。

## C/ 先輩・先人の歩み 日常生活での実践

そして、先輩や先人の実践を学んで、日常生活に教えを生かすとともに、おたすけに励みましょう。

それこそが、陽気ぐらしへと進む道なのです。



夫婦、親子、嫁姑。病気や人間関係の悩みの中に、親心を求めて続けた教友たちの信仰体験集。



熱心な教友に「一番心に残っているおたすけの話を聞かせてください」と尋ねて集めた36編。



数々の節を乗り越えた信仰・布教体験談。読むと心が勇みます。



選びぬかれた、先人の信仰・布教体験集。